

総務文教委員会

6年で支援企業の売上増30億円をクリア

長野・上田市

本年度の総務文教委員会視察は、5月18日から2泊3日で長野県を訪問しました。

まず初日は上田市の「AREC浅間リサーチセンター」(通称ARECプラザ)。

その成果が実を結び実績として成功事例を生み出しています。

委員会の活動報告

能となつていきます。ただ他エリアに行くには、いったん起点に帰ることや利用者の固定化という課題もあります。



産学官連携支援施設AREC(上田市)

ARECプラザの成果は、地域に大きな収穫をもたらしていました。

3回ものづくり連携大賞特別賞など数多くの賞に輝いており、感動と驚きでした。

名のスタッフで地域資源、安曇野ブランドづくりを展開されていきました。

そして、最後は文化薫るアルプスの城下町、松本市のまるごと博物館構想。

本市は市立博物館を皮切りに、重要文化財や記念館など13の文化施設があります。

産業建設消防委員会

2市で消防広域化推進 周辺との消防指令業務も

山口・下関市

5月18、19日に佐賀市と下関市の消防広域化について視察しました。

山口県では、昨年5月に4消防本部体制とする消防広域化推進計画を策定し、下関市は長門市との2市で消防広域化を進める案が示されました。



下関市消防局庁舎

みがらくんたん」を入れ、その中に生ごみを入れ堆肥を作る段ボールコンポスト

堆肥を協力店に持って行き、それを農家が肥料として使い、おいしい野菜や果物を生産している点は、興味深いものでした。

消防広域化、庁舎建設等の主要事業局内検討会議を実施し、7月に長門市と同席で山口県から消防広域化について説明を受け、8月から長門市と消防広域化に係る意見交換会を実施し、下関市議会に対しては消防広域化の経緯について逐次報告を行っているとのことでした。

消防広域化、庁舎建設等の主要事業局内検討会議を実施し、7月に長門市と同席で山口県から消防広域化について説明を受け、8月から長門市と消防広域化に係る意見交換会を実施し、下関市議会に対しては消防広域化の経緯について逐次報告を行っているとのことでした。

厚生委員会

デマンド型乗合タクシー ラビットくん

宮城・角田市

5月13日から15日にかけて、デマンド型乗合タクシーと環境推進施策の取り組みを研修視察しました。

宮城県角田市における市民の足の確保と地域活性化を目的としたデマンド型乗合タクシー「ラビットくん」は、9人乗りのジャン



予約センター(角田市)

とってはうらやましい一言。ため息ばかりでしたが、総社市にも負けない文化と歴史があります。市民力を

ボタクシーで、利用者はあらかじめ登録し、委託先の商工会に整備されている予約センターに申し込むと、番号で地域を特定し、乗り合わせの体制を運転手に伝え、各地域から、中心市街地へ向かうよう対応してくれます。

予約センター(角田市) 予約センター(角田市) 予約センター(角田市) 予約センター(角田市) 予約センター(角田市)

課題として、今後ますます力を入れて行くべきと感じました。今回の研修が総社市へも活かせるよう、提言していききたいと思います。(根馬 和子)